

高機能化学合成



●繊維用仕上剤製造、建材用接着剤製造、その他新規開発製品製造

三木理研工業株式会社

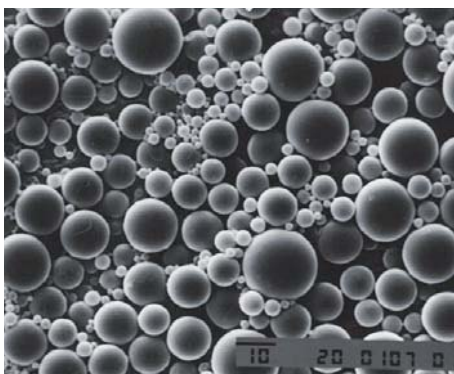
▶TEL: 073-451-2271 FAX: 073-451-2639

▶URL: <http://www.mikiriken.co.jp>



独自の含浸技術で薬剤を注入 木材に付加価値を与える特殊樹脂

木目がきれいな杉・ヒノキは、軟らかく寸法が取りにくいという欠点があり、建材に利用するのは難しい。しかし、これらに三木理研の樹脂を注入すると、硬くなって色と寸法が安定し、耐光性が上がり、付加価値商品に生まれ変わる。樹脂を十分に木材に浸透させ、膨潤性を与えるという含浸技術・ノウハウを有している。販売に加え、装置使用に伴うソフトやメンテナンスも取り扱う。



蓄熱蓄冷剤は粘度のある液体である。左は拡大図。



スギ組子化粧板シート

事業概要と躍進の契機

地域に根ざす工場として、長期的なビジョンで研究・開発にあたる

昭和42年和歌山市島崎町にミキリケン化学工業を設立し、長年研究・開発に従事。日本で初めて、微生物を使って染料を脱色することに10年がかりで成功した。平成21年和歌山桃山町に建設した工場が稼働。近年雇用も増え、外国人も採用している。10年前から主要製品は繊維関係品から産業資材へと移り、新規開発にも力をいれている。

会社の強み・主力商品など

日本の省エネ技術とともに世界に輸出できる蓄熱蓄冷剤

マイクロカプセルの中に入っているパラフィンが融解・凝固することにより放熱、吸熱を行う蓄熱蓄冷剤。建材の場合、壁に塗り込むことで室内の冷気や温かさを保つことができる。太陽熱やヒートポンプで温めたお湯を壁や床中のパイプに通し蓄熱すれば部屋の温度は下がりにくくなり、北海道では、暖房費が50%節約できるという。日本の省エネに対する価値観が変わりつつあるが、やがて急速に発展していくエネルギーの節減技術と共に世界に広まっていくのではないかと期待される。

今後の事業展開

バイオによる染色排水処理技術など、環境問題に対応する製品開発

早くから、木材用の無臭の接着剤を販売。シックハウス対策になるホルマリンキャッチャー剤も開発してきた。染色工場から多量に排出される着色排水を微生物によって脱色するシステム開発にも取り組んでおり、汚泥の排出量を減らし、ランニングコストも削減できるメリットに注目が集まっている。

●企業プロフィール

〒640-8441 和歌山市栄谷13の1
取締役会長: 中川和城 代表取締役社長: 三木保典
設立: 1967年(昭和42年)
従業員数: 44名
資本金: 1,500万円

企業メッセージ

「やさしさ創造コーポレーション」として、将来を見据えた長期的なスパンで、多角的に合成樹脂の可能性を追求していきたいと考えます。



代表取締役社長 三木保典

■用語解説

(従来の) 染色排水処理: 染色工場では、凝集沈殿と活性汚泥によって排水処理を行い、脱色するために硫酸アルミニウム等を投入した結果、多量の汚泥を排出していた。